

第14回各務原市地域公共交通会議 議事録

日 時	平成29年6月8日(木) 13:30~
場 所	各務原市役所 産業文化センター 8階第1特別会議室
委 員 (敬称略)	<p>【出席】</p> <p>武藤 行儀 (岐阜乗合自動車株式会社) (代理: 光村)</p> <p>近藤 浩之 (名鉄バス株式会社運輸部長兼運輸計画課長)</p> <p>福田 英司 (東海旅客鉄道株式会社鉄道本部総務課課長代理)</p> <p>夫馬 康昌 (名古屋鉄道株式会社西部支配人室営業総務課長)</p> <p>石井 靖治 (岐阜交通東部株式会社常務取締役)</p> <p>山田 健太郎 (岐阜県タクシー協会岐阜支部支部長) (代理: 坂)</p> <p>鷺見 高志 (株式会社岐阜バスコミュニティ労働組合執行委員長)</p> <p>西村 順造 (蘇原自治会連合会長)</p> <p>篠田 勲 (那加自治会連合会長)</p> <p>磯野 満 (鵜沼自治会連合会長)</p> <p>多和田 弘子 (市シニアクラブ連合会理事兼女性部会部長)</p> <p>清水 孝子 (八木山地区生活支援ボランティア事務局員)</p> <p>丹羽 昭宏 (中部運輸局岐阜運輸支局首席運輸企画専門官) (代理: 宇佐美)</p> <p>野田 純大 (岐阜国土事務所管理第一課長)</p> <p>早崎 辰仁 (岐阜土木事務所施設管理課長)</p> <p>高井 光介 (各務原警察署交通課長)</p> <p>朝倉 和仁 (岐阜県都市建築部公共交通課長) (代理: 柴田)</p> <p>仙石 浅善 (各務原市議会経済教育常任委員長)</p> <p>各務 英雄 (各務原商工会議所専務理事)</p> <p>倉内 文孝 (岐阜大学)</p> <p>小鍋 泰弘 (各務原市副市長)</p> <p>【事務局】</p> <p>各務原市 産業活力部商工振興課</p>

・委員長あいさつ

・議事

- ①各務原市地域公共交通会議の役員選任について
- ②平成28年度決算について 【資料1】
- ③地域内フィーダー系統確保維持計画の申請について 【資料2】
- ④ふれあいタクシーお試し週間の設定について 【資料3】

・報告

- ①平成28年度の利用状況について 【資料4】
- ②平成29年度事業計画について 【資料5】
- ③ふれあいタクシー電話お助けステーションについて 【資料6】

・その他

■委員長あいさつ

委員長 挨拶

6月議会も始まり、浅野市長もよく話されていますが、8年後を見ると段階世代の方々が75歳を迎え、18年後を見ますと我々のような世代も75歳を迎えることとなります。20年先の課題は今から取り組んでいかなければ間に合いません。特にこの10年で仕組みを作ることが非常に重要だということで、ふれあいバス等についても平成27年10月より大幅な改正を行い、利便性を図っているところであります。

公共交通は、課題もたくさんある分野ではあると認識していますが、一方で、生活の足・福祉とも密接に関わっている部分でもあり、皆様の知恵の出どころがある分野でもあるので、忌憚のないご意見をいただきながら、一生懸命頑張ってまいりたいと思いますので、引き続きのご指導どうぞよろしくお願い申し上げます。

■議事

- ・議事①各務原市地域公共交通会議の役員選任について

※委員からの質問や意見は、なし

- ・議事②平成28年度決算について

※委員からの質問や意見は、なし

- ・議事③地域内フィーダー系統確保維持計画の申請について

※委員からの質問や意見は、なし

- ・議事④ふれあいタクシーお試し週間の設定について

主な質問・指摘事項	回答・対応方針
<p><岐阜運輸支局 宇佐美></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 無料分の運賃の補填は市で行うことでよろしいか。その場合、負担金で運行事業者様へお支払いいただいていると思うが、欠損補填という形となるので、あくまで運賃として分けてお支払いいただきたい。 	<p><事務局></p> <ul style="list-style-type: none"> ● ご指摘のとおり、差額分については市の運行負担金の中から支払う。支払い方法について、運行事業者様とも協議の上で実施をして参りたい。 (結果：運賃として市から交通事業者へ支払い)
<p><岐阜大学 倉内></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 利用者数が月ごとに上下しているという説明もあったが、ふれあいタクシーだとおおよその利用者が把握できているのではないか。そうすると、おのずと上下の理由も分かってくると思われる。 ● 無料にして多くの利用があった場合に、定期的に利用している人々への配慮も必要ではないか。 	<p><事務局></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 確かに、利用者については把握できている。無料での運行は、初めての試みであるので、経過も見ながらその都度改善していきたい。また、この時期に設定したのは、利用が伸び悩む時期で、民間タクシーの状況からも運行会社様にもご協力いただける時期であったこともある。この試みで、今後利用促進にどうつなげていくかも検証して参りたい。 ● 普段利用されている方の予約や利用については、ご提言も踏まえて支障が出ないように調整を行いながら柔軟に対応していきたい。

■報告

・報告①平成28年度の利用状況について

※委員からの質問や指摘事項は、なし

報告・意見

<八木山地区 清水>

八木山地区は、市内でも高齢化率の高い地域で、坂が多いという立地状況もあり、買い物難民が多い。移動についても考えていかなければならず、バスについてのアンケートや話し合いを何度も行い、バス会社様や市にも参加いただいた。この4月から、要望を全面的に取り入れた路線を整備していただき、大変感謝している。市の方には、時刻表を作っていただき、それを使って、住民へ説明している。バスだけでは対応できないところは、校区内の移動は地域のボランティアで対応しており、校区外の移動についてはどのような対応策が考えられるか検討のために、先日、多治見市を視察してきた。

ドライバーのボランティアの中には有償運送の講習を受けた者が4人いるという状況である。(実際の運行は、無償運送で実施)

・報告②平成29年度事業計画について

※委員からの質問や指摘事項は、なし

・報告③ふれあいタクシー電話お助けステーションについて

報告・意見

<岐阜交通東部 石井>

ふれあいタクシーの利用については、まだ浸透していない地域のお客様へ少しでも利用していただきたく、このような取り組みを行っている。利用方法についても分からないという方もいらっしゃると思いますので、会社予約センターへも電話していただければ、いつでもご対応いたしますので、お気軽に使用いただけるようにしていきたい。

■その他

■総括

倉内先生 総括

皆さまお疲れ様でした。3点ほど、コメントさせていただく。

1点目は、ふれあいタクシーについては、第三者評価委員会でもわかりづらいので改善したほうがいいのかという意見をいただいているかと思うが、なかなか悩ましいところである。あくまで公共交通の一部として考えた上で、乗り継ぎというのが前提の形で端末交通という位置づけでのデザイン設計されているというのも理解している。今の所はこのままで運行していくと思うが、「無料お試し週間」や「電話お助けステーション」等の取り組みによりできるかぎり利用者のハードルを低くして使用してもらえるよう期待したい。

2点目は、資料④で、今回の利用状況についてのお話で、図4の運行負担金について公開しているところは非常に良いと思う。一方で、今回かなり利用が伸びているにもかかわらず、収支率的には下がっているのは、先程お話もあったとおり、バスの車両等の費用がかかっているためということではなかったか。もし、そうであるならば、毎年運行に関わるコストの中で収支率としてどのくらいかかったかという位置づけで比較すると、おそらく改善していることが表わせるはずだ。

3点目は、東西線の朝夕便の利用が少ないことに関して、時間の設定を見直す必要もあるのではないかと。現在の時間設定で想定している利用者が利用していない可能性がある。例えば、時間を微調整するだけで利用できる人が増えるかもしれない。利用が想定されるところで、ヒアリング等を行っていくと良いと思う。